

1 PLAN(目的・概要)

一般事務事業

建設整備事業

事務事業の段階

計画 事業化 事業 管理

個22事01

政策名	5 安全な港	23年度事業・個別施策評価結果 (今後の取組みの方向性)			責任者	総務部 危機管理室担当課長	
基本施策名	07 危機管理機能の強化	事務事業	成果	コスト	連絡先	052-654-7813	
個別施策名	22 保安対策を強化する				連携課	海務課、港湾管理事務所、関連事業担当	
事務事業名	01 港湾施設における保安対策の推進	継続	維持	維持	事業期間	平成16年度～継続	
目的	国際港湾施設管理者(国際埠頭施設管理者及び国際水域施設管理者)の保安措置及び関係機関(部署)との緊密な連携を確保します。					事業期間	平成16年度～継続
概要	平成16年7月から施行された改正SOLAS条約に基づき、国内法化した「国際航海船舶及び国際港湾施設の保安の確保等に関する法律」に基づく、港湾保安対策を的確に推進します。					根拠法令等	改正SOLAS条約、国際航海船舶及び国際港湾施設の保安の確保等に関する法律
						実施義務	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
24年度の実施予定	基本訓練および総合訓練を実施し、名古屋港保安委員会を開催する予定です。また、出入管理措置変更に伴う埠頭保安規程を改訂する予定です。					関連シート	個22事02「名古屋港保安委員会の開催」をこの事務事業に整理統合しました。

2 DO(実施)

24年度に実施した内容・結果	引き続き保安規程の見直しに向けた、国、利用者等と調整を進めるとともに、①情報疎通訓練、②保安レベル引上げ時措置訓練、③脅威・脅迫を想定した訓練、④国際テロ情報に伴う緊急事態対応訓練を4回実施した。また、名古屋港の保安関係機関等との連携確保のため、12月12日に名古屋港保安委員会(ナゴヤハーバーネットワーク)を開催し、①国際テロ対策、②出入管理措置の強化、③PSCの現状、④最近の出入国管理をめぐる情勢、⑤出港前報告制度、⑥海外渡航と感染症、⑦外国船からの犬の不法上陸防止、⑧来年度からの保安対策について情報交換を行いました。						
コスト(年度)	単位	20(実績)	21(実績)	22(実績)	23(実績)	24(実績見込)	備考(款項目節等)
事業費計	千円	10	10	10	10	10	(款項目節) 歳出:総務費/総務管理費/一般管理費、使用料及び賃借料(委員会開催経費)
一般会計	千円	10	10	10	10	10	(算出計算式)
事業会計	千円						
その他	千円						
人員費計	千円	5,262	5,149	5,089	5,172	5,230	(その他) 人員内訳: 保安訓練 0.5人 委員会開催 0.1人
正規職員	人	0.60	0.60	0.60	0.60	0.60	
嘱託職員	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
合計	千円	5,272	5,159	5,099	5,182	5,240	

3 CHECK(検証)

活動・成果 指標	年度	20	21	22	23	24	中間目標	24	備考(指標の算定方法など)
保安訓練の開催(回)	目標	5	5	5	5	5		5	SOLAS基本訓練(4回)及びSOLAS総合訓練(1回)を行います。総合訓練は、保安規程上、基本訓練を兼ねることができます。
	実績	6	4	5	5	5			
	達成率(単年度%)	120.0	80.0	100.0	100.0	100.0			
	達成率(累計%)	-	-	-	-	-			
情報共有の件数(件)	目標	5	5	5	5	5		5	情報としては、①国際テロ情勢②港湾における保安対策③出入国管理情報④検疫情報④港湾施設の保安対策⑤各機関の取組報告について共有を図ります。
	実績	4	4	8	4	5			
	達成率(単年度%)	80.0	80.0	160.0	80.0	100.0			
	達成率(累計%)	-	-	-	-	-			
必要性・有効性・効率性の確認		判断理由(課題の抽出)						その他特記事項	
必要性	どうしても必要な事業か?	<input checked="" type="checkbox"/> ○ <input type="checkbox"/> ×						重要国際埠頭の施設管理者に国内法で義務付けられている保安対策を推進する上で、保安訓練の実施及び各機関との連携は不可欠です。	
	利用者のニーズは高いか?	<input checked="" type="checkbox"/> ○ <input type="checkbox"/> ×							
	本組合が関与する必要があるか?	<input checked="" type="checkbox"/> ○ <input type="checkbox"/> ×							
有効性	目的や目標の水準は妥当か?	<input checked="" type="checkbox"/> ○ <input type="checkbox"/> ×						各機関との連携により日常的な協力体制ができていて、また、反復した訓練による保安措置対応のレベルアップも図れていることから、保安対策強化に貢献しています。	
	目標を達成したか?	<input checked="" type="checkbox"/> ○ <input type="checkbox"/> ×							
	個別施策へ貢献したか?	<input checked="" type="checkbox"/> ○ <input type="checkbox"/> ×							
効率性	最小のコストで成果をあげているか?	<input checked="" type="checkbox"/> ○ <input type="checkbox"/> ×						港湾施設の保安対策は埠頭保安管理者である本組合の責務です。	
	受益者に適正に負担させているか?	<input type="checkbox"/> ○ <input checked="" type="checkbox"/> ×							
	効率的な運営主体となっているか?	<input checked="" type="checkbox"/> ○ <input type="checkbox"/> ×							

4 ACTION(取組)

個別施策評価結果による今後の取組みの方向性	事務事業	成果	コスト	判断理由
	継続	➡	➡	重要国際埠頭施設の管理者に国内法で義務付けられているため。
個別施策評価結果を踏まえた来年度以降の取組み				
<ul style="list-style-type: none"> ・保安対策の強化・レベルアップに向けて、基本となる訓練を反復して行うとともに、保安規程の見直しを進めます。 ・港湾関係事犯に関する各種情報を相互に共有、交換し、また協力して安全で安心な名古屋港づくりを目指します。 				